

2020~2021 年度クラブ運営方針
「親睦を深めて奉仕活動・そして継続へ」



国際ロータリー第 2750 地区 多摩中グループ

東京昭島中央ロータリークラブ

TOKYO AKISHIMA-CHUO ROTARY CLUB

2020 年 (令和 2 年) 8 月 26 日 (水)
第 1490 回例会報告

事務局 〒196-0034 東京都昭島市玉川町 3-10-1 ヒルパークハイツ 1F TEL 042-544-1001 FAX 042-544-1002

●本日の司会 (本田 征勇副SAA)



●開会点鐘 (鈴木 栄会長)

●ロータリーソング 「奉仕の理想」「我らの生業」斉唱



ヴァイオリン演奏 武者 祐衣様

●本日のお客様

武者 祐衣様

●会務報告 (鈴木 栄会長)



先週の納涼例会には、多くの会員の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございます。昼間は猛暑でしたが、夕方になると涼しい風が吹きまして、楽しく例会ができました。夏の数少ない思い出ができたかなと思います。まだ残暑は続きますが、皆様熱中症には十分お気を付けください。今朝、RI よりメールが届きました。アフリカ大陸でのポリオの根絶宣言が WHO より発表されました。4 年前にナイジェリアで感染がありましたが、それ以降感染がないということです。これで残す国は、アフガニスタンとパキスタンの 2 カ国となりました。新型コロナウイルスのワクチンができれば、この状況も終息するのかなと思います。

●幹事報告 (田畑 勝久幹事)

8 月 8 日 (火) 立川五色にて出席委員会炉辺会議がおこなわれました。
本日の例会終了後、理事会を開催いたしますので、理事の方々はご出席をお願いいたします。

●卓話 (武者 祐衣様)

講師紹介 (下田 安治会員)



皆様こんばんは。今日は、孫のヴァイオリンをお聴きいただきありがとうございます。私の娘の次女です。タイのインターナショナルスクールにいたので、日本語はあまり上手ではありませんがこれからお話をさせていただきますので、聞いてやってください。

卓話



本日はお招きいただきありがとうございます。私は 2 ヶ月ほど前に、タイから日本へ帰ってきました。本当は 9 月にアメリカにあるブラウン大学に進学するため、今頃は日本を出国するはずでしたが、コロナの影響で 1 月まで延期になってしまい、今は久しぶりの日本を楽しんでいます。ブラウン大学はロードアイランド州にあるアイビーリーグのうちの 1 校です。アルツハイマー病の研究が進んでいる大学で、私はそこで神経科学を専攻する予定です。日本では小学 3 年生から 6 年生まで聖心女子学院に通っていましたが、それ以外はタイのインターナショナルスクールに通っていたので、恥ずかしながら日本語のおかしなところはご了承ください。

今日はタイのインターナショナルスクールの生活について少しお話をさせていただきます。この学校はバンコクから 30~40 分の場所にあります。生徒の割合はタイ、アメリカ、日本、韓国の順となっていますが、西洋、アジア、アフリカなどからの計 50 カ国以上の生徒がいます。しかし、私達にとって髪の色や肌の色に違いがあることは、普通のことで、どこの国の子だと気に掛けることはあまりありません。ですから、国籍は個性の 1 つで、それだけがその人を語るということはないのですが、やはり遺伝子

や経験が違うので、短距離走は西洋人やアメリカ人が強いですが、スピーチ大会でバングラディッシュの友人がタリバンの攻撃が近くで起こったことを話すと、他の子よりも印象に残ります。このように見た目以外にも違いは沢山あるのですが、インターナショナルスクールの大きな特色は皆が違うのが普通ということだと思います。それ以外の特色としては、勉強以外の活動の多さだと思うので、今日は私が高校時代にやっていたクロスカントリー、ボランティア、バイオリンについてお話させていただきます。

クロスカントリーは体型で不利になることが短距離ほどありません、アジア人の私にも不利にはならないのでチームに入りました。クロスカントリーのシーズンは、タイでは大雨の時期と重なっているのですが、スコールの中走ることや、合宿では熱帯雨林の中を泥や木の根につまづきそうになりながらトレーニングするので、友達にはよくなぜこのスポーツをするのか訊かれましたが、私は達成感のあるこのスポーツが好きでした。また、年に1度各国の交流校とレースをする機会があります。毎年開催国が変わるのですが、どの国も赤道直下なので、蒸し暑い中5km走ります。タイ国内の大会では毎年1位だったのですが、国を超えた大会では、シンガポールや台湾のインターが上位で我々の学校はいつもびり争いです。のんびりとした学校の空気感がそのまま移ったようで、生徒も気楽でのんびりとした人が多く、レースにおいては、もう少し競争心があった方が良かったのかもしれませんが、しかし、そのために他校の子と仲良くなるのは早いほうで、また、スポーツマンシップを表彰する賞を頂いたこともあります。この賞は、試合の後、意識がなくなり倒れていたシンガポールのインターの子を援助したため、頂いたものだったのですが、他校の子達が試合の後、クタクタになり立つこともできないなか、ダッシュでこぼこ道を往復していたので、コーチは試合中にもう少し早く走っていたのではと複雑な顔をしていました。そんな我々ですが、国を超えて全力で戦って応援し、国外の子達とも友達になれたことは、得難い経験だったと思います。

ボランティア活動のひとつは、タイに無国籍のミャンマー人のための孤児院兼学校があると母から聞いたことがきっかけとなりました。この施設について調べてみると、オンラインでクラウドファンディングをしていて、学校の土地を、地主に強制的に返すように言われ、新たな土地で施設を建てるための資金を集めていました。これを見て、私にも何かできることはないかと思い、施設に連絡を取ってみると、将来安定した人生を送れるよう子供達に色々学ばせたい、という言葉が聞きました。そのため、オンラインで子供達に英語を教えることをまずはやってみようと思い、相談してさっそく始めることになりました。ミャンマーの子供達に英語を教えることは、共通語がないので難しく、絵のストーリーを見せたりしながら進めました。子供達も教えた単語をミャンマー語で話してくれます。この活動を通して、今まで私が知らなかった問題にも目を向けることができました。この子供達は政治的な理由でタイへ逃れてきたものの、タイ政府から認めてもらえず、無国籍なのだそうです。このような子供達がいるということを知り、彼らと繋がることのできたのは貴重な経験でした。

また、募金を集めるために、日本企業が入っているオフィスのエントランスでヴァイオリンを演奏することもありました。私は日本人が寄付をしてくれるとばかり思っていたのですが、予想外に日本企業で働く多くのタイ人スタッフが、ヴァイオリンのケースに次々とお金を入れてくださり、人と分け合う文化、寄付することが日常

になっているタイ人の文化の素晴らしさを改めて感じました。この他にも、別のボランティアでは、週末に障がい者の子供達と遊んだり、学校の後に乳児院に行き、おんぶや抱っこをして一緒に歌を歌ったりしました。ボランティア活動が日常の中にある学校生活だったと思います。このような経験は自分自身を成長させてくれたものだと思います。

ヴァイオリンの経歴について少しお話させていただきます。私は6歳の時に学校でお姉さんがヴァイオリンを演奏しているのを聴き、どうしても習いたいと思い、母にお願いしました。小学校の頃は、先生の薦めでコンクールに出たこともありますが、どちらかと言うと、誰かと音楽を作るとこのほうが好きでした。日本は音楽のレベルがとても高いので、その中では上手いほうとは言えませんが、中学の時に運よくタイのユースオーケストラのオーディションに合格し、数カ国での演奏ツアーに参加する機会をいただきました。年に数回ある演奏ツアーの費用は、様々な企業の寄付により全額無料なので、入団したい人が多いと後から聞きました。様々な曲を皆で作上げるのは、本当に楽しかったのですが、タイ語が分からないなか、最年少でたった1人の日本人だったので、タイ語でのリハーサルについていくのに必死でした。それでもタイ人は気さくで優しい人が多いので、楽しいことのほうが多かったと思います。何よりもアメリカのカネギーホールやオーストリアの教会、そしてサウジアラビアなどでも演奏し、現地の方達が聴きにきてくださったことは貴重な体験でした。

ハイスクールになってからは学校での音楽活動を中心にしてきました。その1つとして、年に1度、全世界のインターナショナルスクールからオーディションで選ばれた生徒で構成されるオーケストラの演奏会に参加していました。これも毎年主催国が変わり、ルクセンブルク、シンガポール、そしてザルツブルクでコンサートマスターとして演奏したのが1番の思い出です。コンサート本番までの4日で世界の仲間と練習し、1つのオーケストラとして曲を披露することはとても楽しく、年に1度のご褒美のようでした。仲間には、インドの山奥からきたという子もいて、インドの首都に行くまでに丸2日掛かったと言っていました。このように色々な国からきた子達と今も繋がっています。演奏会が終わっても人との繋がりは続くものなので、このような機会をくれた学校に感謝しています。

インターナショナルスクールに通って感じたことは、世界のボーダーが低いことでしたが、コロナが問題となり、今は父がいるタイにも戻れません。今まですぐに発行されていたアメリカの学生ビザも未だに発行されません。そのような意味で国と国とのボーダーを感じています。しかし、コロナにより日本にいる期間が延びて、家族とも過ごせますし、このように演奏する機会を頂けたことは嬉しく思います。

今日はとても緊張していますが、会話をしながらでも食事をしながらでも聴いて頂けると嬉しいです。

謝辞（佐々木 稔郎会長エレクト）

本日はありがとうございました。下田さんからかねがねお噂は聞いておりました。以前にカネギーホールで演奏なさったということで、素晴らしいと思い、是非聴きたいと思っておりました。それが今日叶いとても嬉しいです。タイでは色々な国籍の方と一緒に素晴らしい環境にいらっやして、ボランティア活動もされていて、将来人のために役立つ方になっていただけたらと思います。

●ニコニコ BOX 発表 (成田 篤史親睦委員長)



◎下田安治会員
今日のヴァイオリンは孫の武者祐衣です。
宜しくお祈いします。

◎内藤会員
本日は、下田さんのお孫さん、よろしくお祈いいたします。

○鈴木会長
武者様 本日はヴァイオリン楽しみにしております。

○田畑幹事
武者様 卓話よろしくお祈いします。

○浅見会員
下田様、武者様、本日はありがとうございます。

○伊藤会員
下田さんのお孫さん、本日はありがとうございました。

○佐藤会員
下田様 お孫さんの卓話ありがとうございます

・岩本会員
武者祐衣様、本日の卓話楽しみにしておりました。
よろしくお祈いいたします。

- ・岡野景子会員
武者様、本日ありがとうございました。
- ・西野会員
武者さん、有名なヴァイオリニストになりますよう期待しております。

●出席報告 (指田 裕士出席副委員長)



会員数	48名
出席義務会員	47名
本日の出席	28名

●次週例会予定 (柴田 智幸プログラム委員長)



9月2日(水)
2019-2020 年度決算報告
石田 尚久会計

●閉会点鐘 (鈴木 栄会長)



武者 祐衣様、素敵な音色を披露していただきありがとうございました！